

常任委員会

第40号議案から、第43号議案までの計4議案について、定例会2日目（6月16日）の本会議で質疑が行われた後、所管の常任委員会に審査が付託されました。審査の中で論議されたおもな点は次のとおりです。

総務財政常任委員会

- 委員長 安藤 佳生
- 副委員長 制野 敬一
- 委員 沼倉 昭仁・沼倉 啓介
- 小川 正人・佐藤 英雄
- 鈴木 康弘

◎第40号議案・白石市職員の育児休業等に関する条例及び白石市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

〔質疑〕現在育児休業を取得している職員は何名で、今後増えた場合の対応をどう考えているのか。

〔答弁〕本年4月1日現在の育児休業の取得者は6名であ

り、今後、育児休業等の取得者がふえた場合については、課内、部内での調整により対応し、そのうえで事務に支障がある場合については、臨時職員等で対応していきたい。

〔質疑〕この制度を利用しやすいような職場内での雰囲気づくりが必要ではないか。

〔答弁〕子育てしやすい環境づくりのために、職員に周知していきたい。

◎第41号議案・白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

〔質疑〕今回の改正の外に控除する項目が増えることは考えられないのか。

〔答弁〕現時点で行っているものを制定したが、今後、項目が増えた場合には条例の改正をお願いすることとなる。

教育民生常任委員会

- 委員長 四竈 英夫
- 副委員長 佐久間 儀郎
- 委員 水落 孝子・吉田 貞子
- 山田 裕一・保科 惣一郎
- 平間 知一

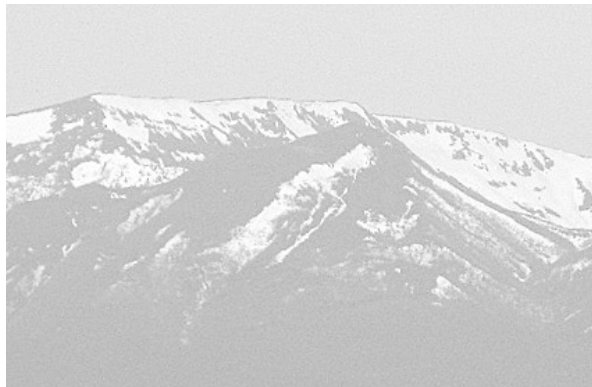
◎第42号議案・白石市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

〔質疑〕母子・父子家庭への医療費受給者の現状と更新・申請時期について伺いたい。

〔答弁〕今年4月1日現在の受給者は、全体で327世帯827人となっており、内訳として母子家庭が307世帯778人、父子家庭が13世帯37人、父母のいない児童の7世帯12人である。更新・申請時期については本年8月を予定しており、全員からの同意を受けられれば、来年度から自動更新を予定している。

〔質疑〕乳幼児医療費の助成についてはすでに更新申請書を省略できることになっているが、母子・父子家庭への助成は何故今の時期になったのか。

〔答弁〕これまででは、児童扶養手当の受給者と母子・父子家庭医療費の受給者の大半が、同一の方だった関係から、一緒に更新手続きを実施してきたが、児童扶養手当の非該当者である父子家庭や遺族年金受給者への配慮、事務処理の簡素化等を検討した結果、今回の改正となった。



つえをついた老人のように見える部分、分かりますか？（水引入道）



6月定例会で審議された議案の内容を一部紹介します。

仙南けやき教室事業とは

県南部の4市9町に在る学校へ行けない状態が続いている児童・生徒のための教室で、悩みを和らげ、学習意欲や自立心・社会性等の育成を図って児童・生徒が登校できるように手助けを行います。

この教室は、これまで柴田町において実施してきましたが、施設の耐震化について課題があり、この教室を構成する4市9町の協議の結果、JR東白石駅前にある仙南地域広域行政事務組合が使用していた事務所跡を今年8月から無償で借り受けることができることになったため、本市が引き継ぎ事業を実施するものです。

事業費 442万8千円